

✿ 未来の蒲田高校生のためのQ&A ✿

Q1 蒲田高校がエンカレッジスクールになったのはいつですか。

A 平成19年度からです。平成19年4月に入学した生徒からエンカレッジスクールの生徒として受け入れました。

Q2 エンカレッジスクールってどんな学校なのですか。

A 今まで、意欲、やる気はあったけれど、力が発揮できずにつまずいてしまった生徒の「学び直し」を可能にし、基礎からやり直し、生徒を勇気付け、励まし、伸ばす学校です。

Q3 チャレンジスクールなどどのような点が違うのですか。

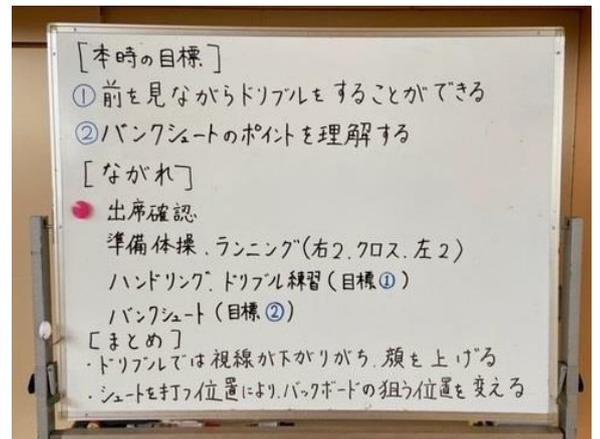
A 蒲田高校は全日制課程普通科の高校です。登校時間も全員8時30分（※令和5年度）で、チャレンジスクールのような昼間部など登校時間がいくつかある学校ではありません。単位制高校のチャレンジスクールと制度上異なる点がいくつかありますので、注意してください。

Q4 学び直しができるという学習指導はどのようなものですか。

A 基礎・基本を重視します。そのため、1年生では30分授業を取り入れ、50分授業とあわせて反復学習を徹底します。数学と英語では習熟度別クラス編成、家庭科と情報では少人数授業を行っています。また、体験学習の時間をしっかり確保して、学ぶ楽しさや自分の新たな可能性に気づくようにします。さらに、地域の人との触れ合いと実体験を大切に、社会生活で必要な自分から学ぶ姿勢をつくります。そのため、学習評価については、中間・期末など定期考査の代わりに、各学期2回から3回の確認テスト、および提出物や平素の授業の取り組み状況など全てを総合的に判断し、評価を行います。

Q5 「学び直しのための「授業づくり」」はどのようなものですか。

A 右の写真を見てください。これは、体育のバスケットボールの授業での本日の目標や流れを説明したものです。蒲田高校の授業では授業の最初に、視覚的にその授業の「見通し」を示します。このようにして、全体像を把握してから授業に取り組むことで、学び直しをしやすい授業づくりに取り組んでいます。



体育の授業での授業の見通しの明示

Q6 「学び直しの支援」はどのようなことを行っていますか。

A 1つは「放課後自習室」です。放課後、誰もが利用できるもので、普段の授業の復習や、確認テストに向けた学習を行います。支援員の方がいらっしゃいますので、わからないところを聞くことができます。もう1つは「校内寺子屋」です。義務教育段階の基礎学力の定着状況が十分ではない生徒に対して、放課後に学習の場を用意するとともに、支援員の方による学習支援を行っています。

Q7 「学び直しのための「環境づくり」」はどのようなものですか。

A 裏面の写真のように、生徒達が授業に集中しやすいように、教室の前面には刺激物(掲示物)を貼らないようにし

ています(写真右)。また、授業で問題を解いたり、話し合いをしたりするとき、生徒達が見通しをもてるように、タイマーを使用して視覚的に時間を認識できるようにしています(写真左)。今後、聴覚過敏の生徒も複数いることから、椅子を出し入れするときに出る音を軽減するための椅子の脚カバーを、各教室の椅子に設置しています。



Q8 蒲田高校の生活指導について、具体的に教えてください。

A 蒲田高校では、授業規律や、服装や頭髪など身だしなみについても継続した指導を行うため、段階的な指導を全教員で取り組んでいます。服装違反については再登校指導を行う時もあります。一人一人を大切に、進路実現を見据えた生活指導を行います。

Q9 学校行事はどのような特徴がありますか。

A 主な行事としては、体育祭(5月下旬~6月上旬)と文化祭(10月下旬)があります。

蒲田高校では、全生徒がいずれかの委員会に所属しています。各委員会は普段の活動とともに、体育祭や文化祭などの行事でそれぞれの役割を担い、行事を運営します。また、体育祭での競技や文化祭での発表だけでなく、運営面でも生徒が主体となり、「一人一人が輝く学校行事」となっています。

Q10 「体験」とはどのようなものですか。

A 「体験」は、生涯スポーツ、教養文化、芸術や福祉、伝統文化、農芸などの講座で構成します。多くの講座で、優れた技術や豊かな教養をもった地域の方を市民講師として招きます。1年生で週2時間、現在は毎週火曜日に実施しています。

Q11 宿泊体験研修はどのようなものですか。

A 従来の修学旅行は行わず、体験などを重視した研修を行っています。現在の3学年は長崎方面、2学年は今年の11月に沖縄に行く予定です。次年度以降については未定です。

Q12 「心の健康づくり」は具体的にどのようなことを行っていますか。

A ユースソーシャルワーカー(週3回来校)やスクールカウンセラー(週1回来校)、精神科校医や外部諸機関との連携を活用し、「心の健康づくり」を推進しています。それ以外にも、ユースソーシャルワーカーによるソーシャルスキルトレーニングや、セルフマネジメント講座を実施しています。

Q13 入学者選抜の小論文検査に向けて、どのようなことに取り組めばよいですか。

A 「特効薬」はありませんので、地道な練習が必要です。ただ、いきなり(本日配布した)過去の問題に取り組むことは大変です。まずは、テーマを身近なもの(例えば、好きなものや趣味等)に設定し、1行や2行程度から、まずは「文章を書くこと」に慣れることから少しずつ進めていく方法も検討してください。

【お願い】

お手数ですが、右のQRコードよりアンケートへのご協力をお願い申し上げます。

